

平成27年度関東倶楽部対抗第3ブロック大会 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 132名)

期日：6月23日(火)

場所：立川国際カントリー倶楽部 草花コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(草花コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	竹田 賢司	寄居	富澤 良二	東京五日市	小島 亘	川越		
2	7:39	菅井 雅之	嵐山	小川 透	岡部チサン	宇田 明彦	熊谷		
3	7:48	原田 光則	多摩	金山 将	川越グリーン	福島 清一	さいたま	高井 正行	小田原・松田
4	7:57	兼田 克彦	立川国際	新鍋 一郎	中津川	井上 清次	津久井湖	土屋 敏明	浦和
5	8:06	堂本 好壮	戸塚	中村 彰宏	横浜	成田 正義	秦野	新井 陽一	青梅
6	8:15	関橋 光一	廣済堂埼玉	宇佐見 則男	高根	加藤 哲朗	伊勢原	古屋 浩	東名厚木
7	8:24	小野 太佳司	寄居	細沼 和秋	川越	前田 正雄	岡部チサン	指田 博	多摩
8	8:33	原 房孝	さいたま	江本 浩	立川国際	堀江 克美	津久井湖	小林 隆行	戸塚
9	8:42	山ノ上 利充	秦野	広井 智一	廣済堂埼玉	坂本 孝由	伊勢原	岡野 公一	東京五日市
10	8:51	辻 啓一	嵐山	吉坂 一實	熊谷	瀬川 信	川越グリーン	落合 義徳	小田原・松田
11	9:00	小島 勝一	中津川	下池 一男	浦和	鈴木 正剛	横浜	熊田 善和	青梅
12	9:09	角石 千春	高根	露木 実	東名厚木	比留間 基好	寄居	池田 憲治	嵐山
13	9:18	比留間 武治	多摩	志藤 貞	小田原・松田	金子 清	津久井湖	三堀 浩司	横浜
14	9:27	金丸 保	廣済堂埼玉	鈴木 克彦	東名厚木	白仁田 和美	東京五日市	関根 幸一	岡部チサン
15	9:36	石井 覚	川越グリーン	平山 康則	立川国際	永堀 豊	浦和	稲川 好繁	秦野
16	9:45	飯田 雅之	高根	福澤 勇二	川越	三谷 一郎	熊谷	石井 富夫	さいたま
17	9:54	石井 卓昌	中津川	柳澤 達哉	戸塚	西 悦男	青梅	瀬戸 千尋	伊勢原

10番(草花コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	7:30	川井 光洋	寄居	金井 篤司	岡部チサン	市川 清	さいたま		
19	7:39	鈴木 優也	津久井湖	馬場 雅之	秦野	皆藤 昌弘	伊勢原		
20	7:48	和田 博	東京五日市	吉川 正憲	熊谷	風間 智行	小田原・松田	浅野 博司	浦和
21	7:57	竹花 英文	青梅	池田 純	東名厚木	土門 英司	川越	元木 努	多摩
22	8:06	柳 秀熙	立川国際	関 晴樹	戸塚	吉岡 進	廣済堂埼玉	阿部 勝彦	嵐山
23	8:15	笹子 健一	川越グリーン	河邊 博和	中津川	遠山 武志	横浜	渡辺 顕展	高根
24	8:24	飯塚 隆	熊谷	田中 良博	寄居	伊藤 泰介	立川国際	光山 富夫	横浜
25	8:33	石橋 重信	伊勢原	和田 雅英	東京五日市	久富 隆生	多摩	榎本 雄文	中津川
26	8:42	手島 豊	東名厚木	阿部 俊幸	秦野	竹内 正己	川越	岡田 貴弘	川越グリーン
27	8:51	村松 吉則	青梅	浅見 賢光	津久井湖	富永 進	嵐山	広瀬 稔	さいたま
28	9:00	松本 正人	浦和	新井 利幸	廣済堂埼玉	船橋 数晃	岡部チサン	加藤 健二	小田原・松田
29	9:09	岡本 聡	戸塚	黒崎 博志	高根	荒井 建次	寄居	佐藤 直基	多摩
30	9:18	花吉 精一	津久井湖	木本 裕二	廣済堂埼玉	飯島 慎平	東京五日市	奥 豊	川越グリーン
31	9:27	當麻 正貴	浦和	森 信幸	高根	佐藤 礼弥	川越	牧瀬 直行	さいたま
32	9:36	門倉 章治	戸塚	中村 勝郁	伊勢原	和田 壮司	嵐山	原 克宣	小田原・松田
33	9:45	鈴木 淳一	横浜	大城 哲男	東名厚木	関 茂生	岡部チサン	大柳 博也	立川国際
34	9:54	都元 陽介	秦野	鷺尾 聡	熊谷	山口 大介	中津川	榎田 剛	青梅

競技委員長 竹村 孝

平成 27 年度 関東倶楽部対抗第 3 ブロック大会

開 催 日 : 6 月 23 日(火)

開催コース: 立川国際カントリー倶楽部 草花コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデー징マーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
- 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
- ホールとホールの間の白杭
4 番と 5 番ホール及び 3 番と 5 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 防球ネット
コース内の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
- 指定ドロップ区域
17 番ホールにおいて、球がグリーン右側のネットに近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは罰なしに指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる(付属規則 I(B)8 を適用する。ゴルフ規則 172 ページ参照)。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	363	371	327	161	472	359	362	149	509	3073
BクラスYards	363	407	350	161	506	400	373	163	529	3252
Par	4	4	4	3	5	4	4	3	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
458	170	370	365	368	174	369	304	487	3065	6138
474	185	390	390	388	197	369	326	519	3238	6490
5	3	4	4	4	3	4	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : キャディーの携帯する無線にて通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 場内放送にて通報する。

プレーの再開 : 場内放送にて通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 コイン(150 球)を限度とする。

競技委員長 竹村孝